

しんぶんタイムを 班活動の軸に、すべての小組で

茨城・常陸大宮支部大宮班



手づくり小組ではLINEグループで「しんぶんを忘れずに」と連絡

すべての小組でしんぶんタイムをめざしている班のとりくみを、支部事務局局長の金子さなさんが紹介します。

班委員会で話し合った

班は小組活動が活発 があります。定期的に絵手紙など15の小組 開いている9の小組で、

会員の大切な場に

工夫しているのは、しんぶんを読むだけで終わらないようにしていることです。「私たちができることは、」と考える時間をとるようになり、その場で行きたる声で自治体に要請。また、「一人暮らしで、声を出す機会がないので、声を出して読むのはいいですね」と

と意見が出され、「今度、班でカラオケに行きましょう」と、次の行動につながるようになっています。 会員からも「一つのテーマをみんなで考えるきっかけになっていい」「一人で読むと難しく、みんなで読むと深読みすることができ

体験会でもゲストと一緒に!

き頭に入ってくる「政治の話ができるから小組に行くのを楽しみにしている」と話され、 小組の体験会にゲストがきたときは、新婦人しんぶんを会の説明にも活用しています。



支部のスタンディング行動に班の会員も参加(1月16日)

声明

学問の自由、自主性・独立性を侵す 日本学術会議法人化法案を撤回させましょう

石破政権は3月7日、現行の日本学術会議法を廃止し、新しく同会議を法人化する法案を閣議決定しました。2020年の会員候補6人の任命拒否に続き、学術会議つぶしをねらうもので、戦争国家につながる危険な動きとして、強く抗議し、撤回を求めます。

日本学術会議は、戦争協力の反省のうえに、「我が国の平和的復興、人類社会の福祉に貢献し…学術の進歩

に寄与する」を使命として創設された、「科学者の内外に対する代表機関」です。政府に対し259件の勧告をおこない、最近も、性的同意の刑法改正や国際人権基準の反映、気候変動に伴う激甚災害対策、3度の軍事研究拒否など、耳を傾けるべき多くの提言・宣言を出しています。こうした活動の根幹に「学問の自由」(憲法23条)、「独立性」(日本学術会議法3条)があり、

長6氏をはじめ、さまざま

な学会や団体から撤回を求める動きが急速に広がっています。『国際科学誌』「サイエンス」は、背景に自民党や一部財界の軍事研究支持があり、「与党、自民党が会議の独立性を損なおうとしている」と報じました。 学問の自由を侵害し、戦争国家づくりと一体の法人化法案は必ず撤回にと、オンライン署名などで運動を一気に広げましょう。

2025年3月12日
新日本婦人の会
中央常任委員会

母の歴史

聞き書き 大神田朝子さんのお話 (1)

今回からは、戦後「満洲」(中国東北)から引き揚げ、就職した職場で12年に及ぶ解雇撤回闘争をたたき抜き、新婦人の結成にも関わった大神田朝子さん(87)のお話です。武蔵野支部ひばり班に所属、夫の両親の22年間の介護生活を経て、今も地域で活動を続けています。

私は1938年、朝鮮の鉄原で、満州電業(株)の電気技師だった父・忠と母・菊子の長女として生まれました。3歳下の弟は、1943年、2歳の時に肺炎で亡くなり、同年、父が出征。直後に妹が生まれました。



「先駆者のお話を聞く会」(ひばり班)で語る大神田さん

1945年、終戦となり、翌日には兵隊さんが町からまわってきた見えなくなり、びびりしました。母子三人だけになり、30歳過ぎたばかりの母は、心細かったと思います。

母子3人で迎えた終戦

荒野を移動する、「引き揚げ」が始まりました。弟のお骨は持つて逃げられないので、庭の隅のひまし油の木の下に、母が一人、小さいスコップで穴を掘って埋葬しました。「大事にしていたのに」と泣いていた姿を忘れられません。私はリュックを背負われ、母は両手に荷物をもち子どもをおぶつての苦難の移動です。中国の人から「大変だから子どもを置いていきなさい」と言われた母は「自分は死んでも子どもを連れ帰る」とお断りしたそうです。「母はずいぶんかっか」と思います。